

令和4年度 第2回成田市公民館運営審議会 会議概要

1. 開催日時

令和5年1月31日（火） 午前10時から午前11時30分まで

2. 開催場所

成田市宗吾1丁目839番地1
成田市公津公民館 会議室・実習室

3. 出席者

(委員)

木川義夫会長、麻生辰浩委員、磯前勉委員、千葉秀幸委員、佐々木有希委員、
天野義夫委員、長澤成次委員

(事務局)

関川教育長、堀越教育部長、小川教育部担当次長、大隅公民館長、
寺里管理係長、高橋事業係長、田口主査、長谷川主任主事

4. 傍聴者 1人

5. 議事

(1) 答申「家庭教育支援事業の活性化について」の取り組みの状況と課題について

6. 報告事項

(1) 令和4年度公民館主催事業の進捗状況及び令和5年度公民館主催事業について

(2) 令和4年度公民館主要工事等の進捗状況及び令和5年度公民館主要工事等について

(3) 複写機等の使用にかかる運用の見直しについて

【議事（１）について】

要旨：令和４年１月２５日に公民館運営審議会より提出された答申「家庭教育支援事業の活性化について」の内容を踏まえた令和４年度の取り組み状況と課題についての説明を事務局より行い、その後、委員から意見を伺った。

○子育てサークルなどとの連携について

（木川会長）

欠席の高木委員からメールで意見が届いているので伝える。

「うたおう！あそぼう！わらべうた講座」については、親子わらべうたサークルと連携し、３回連続の３回開催としたことで、各家庭に取り込みやすく、子どもたちも場や空間に慣れ、参加者同士の交流も深まりやすかったと、サークルの代表や講師から聞いている。子育てサークルが少ないとのことだが、他のサークルについても公民館から積極的に活動見学に行くなどしてみてはどうか。

また、「子育て世代のためのリフレッシュヨガ体験」を見学して、参加者からは、自分自身と向き合いリフレッシュできたとの声があった。簡単な内容なので家庭でもできる点がよかった。更に、子育て世代同士の交流や、次に繋がるような仕掛けをつくったらどうか。

（麻生委員）

公民館だよりもあるように、子育て世代向け事業が活発に行われ、公民館においても努力しているのが分かる。

（佐々木委員）

「子育て世代のためのリフレッシュヨガ体験」の参加者は何名だったか。

（事務局）

７名の参加があった。

（佐々木委員）

公民館としてこの参加者数はどのように捉えているか。

（事務局）

定員の設定は１２名であったため、若干少なかったと捉える。

(佐々木委員)

高木委員の意見にもあったように、次に繋がるような仕掛けをつくっていくことは大事だと考える。公民館だけでなく、講師や子育てサークル、公民館運営審議会などと連携してアイデアを出していけると良い。

(千葉委員)

託児サービスを行ったりして、子どもも一緒に参加出来る事業であると、子ども同士も同士の交流もでき、保護者同士も子どもの話題で交流しやすいと考える。

(事務局)

令和4年度実施事業のうち、「うたおう！あそぼう！わらべうた講座」と「子育て世代のためのリフレッシュヨガ体験」の2事業で託児を実施した。

○市関係部署との連携について

(千葉委員)

市関係部署との連携事例が少数であるとのことだが、連携数には指標はあるのか。

(事務局)

家庭教育支援事業に関しては、子育て支援課・健康増進課・生涯学習課との連携を考えている。

(長澤委員)

答申を受け今回それに基づいた取り組みの報告があり、このような循環があることを評価する。公民館だよりでも子育て講座を特集していて良い。成田市には13館もの公民館があるので、学校や自治会とも連携し、身近な各館で更に事業が展開できると良い。

次につなげる仕掛けとして、自主サークル化を支援するなどの事例ができていくと良い。

○令和5年度以降の学校との連携について

(麻生委員)

まずはお互いに知る必要がある。遠山小においては、学校の近くにどのような施設があるのかを知る機会とするため、家庭教育学級として茶道教室を遠山公民館の和室にて実施した。また、生涯学習課に在籍していた経験から、市内各校に公民館から家庭教育支援事業を紹介してもらえると良い。

(天野委員)

自身の経験から、凧作りや釣り大会、キャンプ教室など、体験を伴うものは貴重な思い出になるので、そのような事業を行ってはどうかと思う。

(千葉委員)

市子連においても、子どもたちにどのように学びを提供するか考えている。令和4年度の行事では航空博物館に行き、解説を受けながら見学し、子どもたちが興味をもっている様子を感じた。指導を交えながら実施するなど工夫をすれば、昔の遊びなども良いものになると思う。

(佐々木委員)

学校との連携がとれば、公民館は更に身近に感じられると思うが、市として学校との連携が必要と考えているか。

(事務局)

諮問したのは家庭教育支援事業の活性化についてのみであったが、公民館全体の活性化についても意見をいただくことができた。答申の内容を踏まえながら、一つずつ進めていきたい。更に市民の方が利用しやすく、また多くの方に利用してもらえるよう取り組んでいきたい。

【報告（1）について】

要旨：令和4年度公民館主催事業の進捗状況及び令和5年度公民館主催事業について事務局から説明。その後、次のとおり質疑応答を行った。

(長澤委員)

「外国人のための日本語教室」は、成田の公民館では特色のある事業だが、ボランティア講師はどのような人材なのか。

(事務局)

公民館主催事業「日本語ボランティアスタッフ養成講座」を修了した人が、日本語教室で教えている。

(木川会長)

令和5年度後期主催事業について、委員からの提案はあるか。

(事務局)

先ほどの令和4年度主催事業についての補足として、「初心者のための英会話教室」参加者から立ち上がったサークルがある。今後とも、生涯学習のきっかけとなる講座を開催していきたい。

(長澤委員)

子育てサークル同士の交流が図れるイベントなどを企画してはどうか。

(事務局)

現時点で具体的な計画はないが、検討していきたい。

【報告(2)について】

要旨：令和4年度公民館主要工事等の進捗状況及び令和5年度公民館主要工事等について事務局から説明。その後、次のとおり質疑応答を行った。

(麻生委員)

大栄公民館ホール舞台の袖幕や吊りものについて、現在は手動操作だが、電動にならないか。

(事務局)

公民館そのものの維持に係る修繕等が最優先となるが、順次対応を検討していきたい。

(天野委員)

大栄公民館について、ホールの定員に対して駐車場の数が少ない。改善を検討してほしい。

(事務局)

即時対応は難しい。周辺の公共施設の状況などを考慮しつつ、検討していきたい。

【報告(3)について】

要旨：複写機等の使用にかかる運用の見直しについて事務局から説明。

質疑等なし